

教育DXレポート

年度末・新年度の効果的な ICT支援員活用

ICT・DXツール導入・利用時の 新たな業務分担

私立・公立学校問わず、全国でICT端末・ツールの導入は一般的になりました。校務におけるDXツールの導入・入れ替えも進み中、教務・事務において過去にはなかった新たな業務が様々生まれてきています。

ICT推進委員会や情報科など一部の教職員の方に業務が集中してしまうと、ICT・DXツールを導入したのに効率化・省力化が進まず、却って業務過多な状況が発生してしまいます。

そこで、ICTにまつわる業務を推進する役割としてICT支援員の導入をお勧めします。

年度末の主なICT関連業務

既に週1~2日程度の勤務で支援員を導入されている場合でも、年度末・新年度始めの期間は出勤日を増やすなどの対応をされるとよいでしょう。予算面のハードルがある場合、事前に相談の上、例えば夏休み期間等の休暇中の出勤日数を調整することで年間の予算額を同等にするなどの対応も考えられます。

下記に年度末・新年度に想定される主なICT関連の業務を整理します。どのように業務分担をするか、ご参考にしていただければ幸いです。

■各種ツールの卒業生データ削除、新学年へのデータ移行

Google ClassroomやTeams、Classiなどの学習ポータルサイトやBLEND等の校務支援システムについて、卒業生のデータ削除（もしくは保存）、新学年へのデータ移行が必要です。クラス単位で掲示板やチャット機能を利用している場合は、そのデータ整理等も併せて実施します。

WEBフィルタリング等のセキュリティツールを導入している場合、中学と高校、学年ごとにルールが異なる場合があるた

め、確認しながら進めましょう。

前述の業務をICT支援員を中心に行っていく想定ですが、慣れてきたらデータ移行等の一部の業務は、支援員がマニュアル作成・研修を実施した上で、各学年の担当に分担してもよいでしょう。各担当が学習ポータルサイトを一定程度活用できるスキルを身につけることで、学校全体のICT活用の進展につながります。

■卒業生端末のセキュリティソフト、Wi-fi等の設定削除

卒業時の生徒端末に残る学校のWi-fi等の設定について、学校によっては支援員を中心に削除してから端末を返却する場合があります。対応する人数によって端末回収・返却期間が大幅に変わるため、早めに計画を立てておきましょう。

新年度の主なICT関連業務

■新入生学習ポータルサイトやMicrosoft・Google等の新入生用アカウント作成

■新入生用端末の配布準備、初期不良対応

■新入生用、端末・各種ツール利用マニュアル作成

■新入生対象のICT端末・ツール利用のオリエンテーション実施

年度末・新年度は上記以外にも様々な業務があります。また、各種データ移行等の諸業務はルーティンワークとして、今後はICT・DXツールの活用方法についての検討会や研修等に時間を割けるような体制を作っていくことが重要です。

コアネット教育総合研究所では、ICT支援員の業務委託について多くの実績がございます。ぜひ、お問い合わせください。

また、弊社WEBサイトには支援員業務についてより詳細な記事をご用意しておりますので、ご覧ください。

ICT支援員の事例はこちら▶



ICT支援員・ICT活用アドバイザー・ICT活用教育支援員派遣

コアネット教育総合研究所では、教職員のICTに関する業務負担を軽減・効率化し、教育の「質」を高めるためのICT支援員等の派遣を行っています。

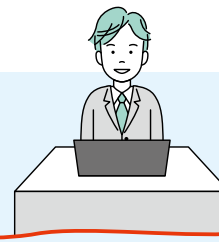
訪問型



必要な分だけサポートを行う業務で、月1日程度から対応可能。用途・費用に応じてご要望にお応えします。

利用期間・回数	・月1～4回の訪問や職員会議時などのミニ研修、夏休みなどの長期休暇にICT活用研修 ・新入生の端末導入時など繁忙期には訪問回数増加可能
相談内容	・事例提供、ルールや端末の見直し相談 ・活用研修のみの提供も可能

常駐型



終日常駐の支援員を派遣し、活用サポートから機器のトラブル対応まで、幅広いニーズに対応いたします。

勤務時間・期間	・週2～5日など目的や費用に応じて日数の設定可能 ・常駐勤務で終日サポート対応
支援内容	・活用に関するサポートや、教員向け研修 ・機器トラブルのサポートや学校端末の管理

教育DX・ICT活用研修企画・研修講師派遣 研修例

ICT環境整備	ビギナー（初心者向け）	ベーシック（基礎）	アドバンス（応用）
・端末選定 ・Wi-Fiおよびネットワーク環境整備 ・端末の効率的な導入（BYOD・CYODのメリット・デメリットなど） ・授業や学校生活、校務で活用できる各種ツールの導入 など	・ICT端末や機器の基本操作 ・TeamsやGoogle Classroomなどの学習ツールの基本的な使用方法 ・ICT導入初期の活用方法（情報共有・個別学習・協働学習教材作成支援など） ・情報セキュリティ、情報モラル、情報リテラシーに関する研修 など	・ICTを活用した授業支援や授業デザイン ・授業外（部活動・委員会・課外活動）での学習ツールの活用 ・TeamsやGoogle Classroomなどの学習ツールの発展的な活用 ・クラウドを活用した学習活動 ・個別最適な学習を支援するツールの活用 ・情報I授業への対応と各種ツールの活用 など	・ICTベースのカリキュラム・マネジメントとカリキュラム・デザイン ・個別最適な学び、協働的な学びの授業づくり ・生成AI（Microsoft Copilotなど）活用 ・教育ダッシュボードの活用 ・教育データを活用した学びや学校経営 ・STEAM教育等の新たな教育プログラムの事例紹介や導入 ・教育DXを実現するためのポイント など

導入を希望される方はコアネットまでご連絡ください。

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田、坂本)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

